

公益社団法人奈良県看護協会
2022年度認定看護管理者教育課程
ファーストレベル・セカンドレベル
募集要項

公益社団法人 奈良県看護協会
教育事業部 認定看護管理者教育課程担当
〒634-0813 奈良県橿原市四条町 288-8
TEL 0744-25-4014
FAX 0744-24-7703

2022 年度認定看護管理者教育課程募集要項

1 公益社団法人 日本看護協会 認定看護管理者制度の目的

公益社団法人日本看護協会認定看護管理者制度は、多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、一定の基準に基づいた看護管理者を育成する体制を整え、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献することを目的とする。

公益社団法人 日本看護協会 認定看護管理者規定 第1章総則 第1条

2 教育目的・目標

	ファーストレベル	セカンドレベル
教育目的	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。	看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。
到達目標	1、ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2、組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3、看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。	1、組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。 2、保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

3 教科目と時間

教育内容・日程は別添資料1・2・3・4参照

※ファーストレベル2教科目・セカンドレベル2教科目に公開講座予定があります。

※セカンドレベルは県内セカンドレベル修了者に一部の教科目をオープン（聴講のみ）にします。

ファーストレベル		セカンドレベル	
教科目	時間数	教科目	時間数
ヘルスケアシステム論Ⅰ	15	ヘルスケアシステム論Ⅱ	15
組織管理論Ⅰ	15	組織管理論Ⅱ	30
人材管理Ⅰ	30	人材管理Ⅱ	45
資源管理Ⅰ	15	資源管理Ⅱ	15
質管理Ⅰ	15	質管理Ⅱ	30
統合演習Ⅰ	15	統合演習Ⅱ	45
		実習 1日	
奈良県独自科目	24	奈良県独自科目	9
開閉講式・オリエンテーション	3	開閉講式・オリエンテーション	3
総時間	132	総時間	192

4 受講要件・開催期間・申し込み期間・方法・経費

	ファーストレベル	セカンドレベル
定員	60名	40名
受講要件	① 日本国の看護師免許を有する者。 ② 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 ③ 管理的業務に関心がある者。 ④ 全科目を受講できる者。	① 日本国の看護師免許を有する者。 ② 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 ③ 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。 （副看護部長相当の職位とは保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す） ④ 全科目を受講できる者。
開催期間	別添資料2 ①6月20日（月）～7月2日（土） ②7月11日（月）～7月27日（水）	別添資料4 ①10月13日（木）～10月29日（土） ②11月7日（月）～11月19日（土） ③11月28日（月）～12月10日（土） ④実習1日：11月21日（月）～11月25日（金）のうち1日（祝日を除く）
	※土日開催あり、日程変更になる場合があります ※予備日を含む日程を記載	
研修時間	原則 9時30分～16時30分	
申込期間	3月22日（火）～3月31日（木） 13時必着	7月19日（火）～7月28日（木） 13時必着
申込方法	郵送・持参・Webのいずれか	
研修場所	奈良県看護研修センター 変更になる場合があります。	
受講決定	4月末頃本人記載宛に発送又は返信	8月末頃本人記載宛に発送又は返信
受講料 （税込）	会員 114,840円 非会員 183,260円	会員 237,050円 非会員 380,050円 2023年実践報告会参加費を含む
	会員とは日本看護協会会員となります。 受講料振込手数料は自己負担になります。 原則受講決定後一旦納入された経費は返却いたしません。	
科目再審査料 （税込）	会員 2,200円・非会員 3,300円 1教科目につき1回のみ可能です。	会員 5,500円・非会員 8,250円
次期再履修料	会員 13,200円・非会員 19,800円 （15時間につき・税込）	会員 16,500円・非会員 24,750円 （15時間につき・税込）

5 提出書類

書 類 提出方法	ファースト		セカンド	
	郵送 持参	Web	郵送 持参	Web
①申込書（様式1） P9参照 郵送・持参：HP から用紙をダウンロード可 Web：HP→教育・研修→各種ダウンロード→2022 年度認定 看護管理者教育課程→「ホームページから申込」を選択 入力フォームに登録する	同封	入力フォー ムを提出	同封	入力フォー ムを提出
②ファースト課題レポート（様式2） P10参照 ダウンロード可 表題をつけ自己の課題を踏まえ受講動 機を 200 字以内に述べる。文章の最後に（ ）で文字数 を記入する	同封	PDF ファ イルに変換 後登録	—	—
③セカンド課題レポート（様式2） P10 参照 ダウンロード可表題をつけ現在の立場から管理的視点で 自部署の課題を 1500 字以内で述べる。文章の最後に （ ）で文字数を記入する	—	—	同封	PDF ファ イルに変換 後登録
④保健師・助産師・看護師免許証の写し A4サイズに縮小したもの1部、裏面に記載が ある場合も写しを提出 保健師・助産師の場合は看護師免許も提出	同封	PDF ファ イルに変換 後登録	同封	PDF ファ イルに変換 後登録
⑤ファーストレベル研修修了者（必要時）は修了書の写 し A4 サイズで提出、または職位を証明（必要時）の場 合は勤務証明書で確認できればよい	—	—	同封	PDF ファ イルに変換 後登録
⑥勤務証明書 P11（様式 3）ダウンロード可 1 施設で実 務経験経験が通算 5 年を確認できる場合は 1 枚でよい	同封	PDF ファ イルに変換 後登録	同封	PDF ファ イルに変換 後登録
⑦返信用封筒 角 2サイズ 郵便番号・住所（施設又は自宅）申込者のお名前宛を 記載し同封する	同封	不要	同封	不要

- ・提出書類の不備は無効となります。全てを正確に記載提出してください。
- ・受講申込書は受講レベル箇所に☑を付けてください。
- ・実務年数は開講月 1 日を基準として記入ください。
- ・実務経験年数は准看護師経験、産前産後休業、育児休業、介護休業、休業・休職中は除いてください。1 ヶ月間 15 日間勤務した場合は勤務と算出してください。
- ・レポートは自身の表題をつけ MS 明朝 10.5 ポイントで記載する。指定の用紙以外でも可能

6 受講者の選考方法・選考基準 ※会員・非会員は選考の基準ではありません
 認定看護管理者教育運営委員会で、以下の選考基準に基づき合否を決定する。

- 1) 受講要件を満たしていること
- 2) 課題レポートの内容

選考基準

項目	内容
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの課題が整理され述べられている ・課題と動機の整合性がある
文章表現	<ul style="list-style-type: none"> ・提出基準が（書式・文字数）が守られている ・誤字、脱字がない

7 授業形態について

- ・感染の状況等により遠隔授業及び運営方法が変更になる場合があります。
- ・遠隔授業に対しては施設または自宅での受講ができるように準備を整えてください。
- ・セカンドレベル研修はオープン講座としてセカンドレベル研修修了者の聴講があります。

8 修了要件について

1) 修了要件

- ① 出席状況：各教科目時間数の5分の4以上の出席があること。
- ② 教科目レポートの評価：教科目の合格

2) 教科目レポート評価方法

- ① 教科目レポート：当該教科目担当講師が評価基準に基づき評価する。
各科目指定の期日内にレポートを提出する。
- ③ 評定基準は「A：80点以上、B：79～70点、C：69～60点、D：59点以下」
の4段階評価とし、C以上を合格点とする。
- ④ D評価（不合格）の場合は、1回に限り再評価を受けることができる。
再評価を受ける場合は、指定の期日内にレポートを提出する。

9 提出先

1) 郵送・持参の場合

〒634-0813 奈良県橿原市四条町 288-8
 公益社団法人奈良県看護協会
 「認定看護管理者教育課程受講申込書類在中」と明記

2) Web の場合

奈良県看護協会 HP→教育・研修→各種ダウンロード→2022 年度認定看護管理者教育課程
 「ホームページから申込」から提出する

10 その他

- ・受講申込に際して得た個人情報は、研修会申込みに伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、目的の範囲を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。
- ・提出いただいた書類は返却いたしませんのでご了承ください。
- ・応募数定員に満たない場合はファーストレベル 4 月初旬、セカンドレベル 8 月初旬に当協会 HP 追加募集を掲載いたします。

ファーストレベルカリキュラム

別添資料 1

教育目的		看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する																		
到達目標		1、ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる 2、組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる 3、看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる																		
	教科目	時間	単元	教育内容	時間	講義内 演習時間														
1	ヘルスケアシステム論 I	15	社会保障制度概論	・ 社会保障制度の体系 ・ 社会保障の関連法規	6	2														
			保健医療福祉サービスの提供体制	・ 保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム 地域共生社会																
			ヘルスケアサービスにおける看護の役割	・ 保健医療福祉関連職種の種類 ・ 看護連携 ・ 地域連携における看護職の役割	3	0														
				・ 看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規 倫理綱領 看護業務基準																
2	組織管理論 I	15	組織マネジメント概論	・ 組織マネジメントに関する基礎知識 ・ 看護管理の基礎知識	6	0														
			看護実践における倫理	・ 看護実践における倫理的課題 ・ 倫理的意思決定への支援			9	0												
3	人材管理 I	30	労務管理の基礎知識	・ 労働法規 ・ 就業規則 ・ 健康管理（メンタルヘルスを含む） ・ 雇用形態 ・ 勤務体制 ・ ワークライフバランス ・ ハラスメント防止	3	0														
				看護チームのマネジメント			・ チームマネジメント ・ 看護ケア提供方式 ・ リーダシップとメンバーシップ ・ 准看護師への指示と業務 ・ 看護補助者の活用 ・ コミュニケーション ・ ファシリテーション	9	0											
							人材育成の基礎知識			・ 成人学習の原理 ・ 役割理論 ・ 動機づけ理論 ・ 人材育成の方法	12	0								
										4			資源管理 I	15	経営資源と管理の基礎知識	・ 診療・介護報酬制度の理解 ・ 経営指標の理解 ・ 看護活動の経済的効果	6	0		
															看護実践における情報管理	・ 医療・看護情報の種類と特徴 ・ 情報管理における倫理的課題（情報リテラシー）			9	0
				5			質管理 I	15	看護サービスの質管理	・ サービスの基本概念 ・ 看護サービスの質評価と改善 ・ 看護サービスと記録 ・ 看護サービスの安全管理	9	0								
		6	統合演習 I		15	演習				・ 学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する			15	15						
										7					奈良県独自科目	24	看護管理実践計画の立て方・書き方	・ あるべき姿を明確にし問題解決にむけた課題と対応策を導く過程を理解する	6	0
																	問題解決思考	・ 論理的思考 ・ 問題解決思考 ・ 問題解決過程		
9	リフレクション	・ 学習内容を活用し自身の受講動機と課題解決にむけた対応策を共有する	6	0																
10	開閉講式オリエンテーション	3			3	0														
総時間					132	20														

2022年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル日程表

月日	曜日	9:30~12:30	13:30~16:30
6/20	月	開講式 オリエンテーション	人材管理Ⅰ 労務管理の基礎知識
6/21	火	質管理Ⅰ 看護サービスの質管理	組織管理論Ⅰ 看護実践における倫理
6/23	木	組織管理論Ⅰ 看護実践における倫理	組織管理論Ⅰ 看護実践における倫理
6/24	金	人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識	人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識
6/25	土	組織管理論Ⅰ 組織マネジメント概論【公開講座】	組織管理論Ⅰ 組織マネジメント概論【公開講座】
6/27	月	ヘルスケアシステム論Ⅰ 社会保障制度概論・保健医療福祉サービスの提供体制	ヘルスケアシステム論Ⅰ 社会保障制度概論・保健医療福祉サービスの提供体制
6/28	火	人材管理Ⅰ 看護チームのマネジメント	人材管理Ⅰ 看護チームのマネジメント
6/29	水	質管理Ⅰ 看護サービスの質管理	質管理Ⅰ 看護サービスの質管理
6/30	木	資源管理Ⅰ 経営資源と管理の基礎知識	資源管理Ⅰ 経営資源と管理の基礎知識
7/1	金	予備日	
7/2	土	ヘルスケアシステム論Ⅰ ヘルスケアサービスにおける看護の役割 【公開講座】	ヘルスケアシステム論Ⅰ ヘルスケアサービスにおける看護の役割 【公開講座】
7/11	月	看護管理実践計画の立て方書き方	看護管理実践計画の立て方書き方
7/12	火	人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識	人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識
7/13	水	人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識	資源管理Ⅰ 看護実践における情報管理
7/14	木	資源管理Ⅰ 看護実践における情報管理	資源管理Ⅰ 看護実践における情報管理
7/15	金	質管理Ⅰ 看護サービスの質管理	質管理Ⅰ 看護サービスの質管理
7/19	火	人材管理Ⅰ 看護チームのマネジメント	人材管理Ⅰ 看護チームのマネジメント
7/20	水	問題解決思考	問題解決思考
7/21	木	問題解決思考	問題解決思考
7/22	金	ヘルスケアシステム論Ⅰ ヘルスケアサービスにおける看護の役割	統合演習
7/23	土	予備日	
7/25	月	統合演習	統合演習
7/26	火	統合演習	統合演習
7/27	水	リフレクション	リフレクション・終講式

・都合により日程を変更する場合がありますが、ご了承ください。

公益社団法人奈良県看護協会

セカンドレベルカリキュラム

別添資料 3

教育目的		看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。				
到達目標		1、組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。 2、保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。				
	教科目	時間	単元	教育内容	時間	講義内演習時間
1	ヘルスケアシステム論Ⅱ	15	社会保障制度の現状と課題	・ 日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の（財源）構造と推移	6	0
			保健医療福祉サービスの現状と課題	・ 保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等	6	2
			ヘルスケアサービスにおける多職種連携	・ 多職種によるチームケア提供の実際と課題	3	0
2	組織管理論Ⅱ	30	組織マネジメントの実際	・ 組織分析 ・ 組織の変革 ・ 組織の意思決定	6 12	0 3
			看護管理における倫理	・ 看護管理における倫理的課題 ・ 看護管理における倫理的意決定	12	0
			人事・労務管理	・ 人員配置 ・ 勤務計画 ・ ワークライフバランスの推進 ・ ストレスマネジメント ・ タイムマネジメント ・ 労働災害とその対策 ・ 労務管理に関する今日的課題 ・ ハラスメント予防策と対応	15 3	0 0
3	人材管理Ⅱ	45	多職種チームのマネジメント	・ 人的資源の活用 ・ リーダシップの実際 ・ 看護補助者の育成 ・ コンフリクトマネジメント	6 12	3 0
			人材を育てるマネジメント	・ キャリア開発支援 ・ 人材育成計画	9	0
			経営資源と管理の実際	・ 医業収支 ・ 経営指標の活用 ・ 費用対効果 ・ 適切な療養環境の整備	6	0
4	資源管理Ⅱ	15	看護管理における情報管理	・ 看護の評価・改善のための情報活用	9	0
			看護サービスの質保証	・ クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	15	3
5	質管理Ⅱ	30	安全管理	・ 安全管理の実際 ・ 安全管理教育 ・ 法令遵守 ・ 災害対策	9 6	0 0
			演習	・ 自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する	39	45
			実習	・ 地域連携を理解するための他施設実習を行う（実習施設は受講者自身の所属種別以外の施設とする）	6	
7	奈良県独自科目	9	看護管理実践計画の立て方・書き方	・ あるべき姿を明確にし問題解決にむけた課題と対応策を導き、実践可能な計画を立案する過程を理解する	6	0
8			リフレクション	・ 学習内容を活用し自部署における課題解決にむけた改善計画の立案を共有する	3	0
9	開閉講式オリエンテーション	3			3	0
総時間					192	56

2022年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル日程表

別添資料 4

月日	曜	9:30~12:30	13:30~16:30
10/13	木	開講式 オリエンテーション	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *
10/14	金	看護管理実践計画の立て方・書き方 *	看護管理実践計画の立て方・書き方 *
10/17	月	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント
10/18	火	質管理Ⅱ 看護サービスの質保証 *	質管理Ⅱ 看護サービスの質保証 *
10/19	水	質管理Ⅱ 看護サービスの質保証 *	質管理Ⅱ 安全管理 *
10/20	木	組織管理論Ⅱ 看護管理における倫理 *	組織管理論Ⅱ 看護管理における倫理 *
10/21	金	質管理Ⅱ 安全管理 *	質管理Ⅱ 安全管理 *
10/24	月	予備日	
10/25	火	組織管理論Ⅱ 看護管理における倫理 *	組織管理論Ⅱ 看護管理における倫理 *
10/26	水	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *
10/27	木	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 *	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 *
10/28	金	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 *	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 *
10/29	土	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *
11/7	月	質管理Ⅱ 安全管理 災害対策【公開講座】 *	質管理Ⅱ 安全管理 災害対策【公開講座】 *
11/8	火	ヘルスケアシステム論Ⅱ 社会保障制度の現状と課題【公開講座】 *	ヘルスケアシステム論Ⅱ 社会保障制度の現状と課題【公開講座】 *
11/9	水	ヘルスケアシステム論Ⅱ 保健医療福祉サービスの現状と課題 *	ヘルスケアシステム論Ⅱ 保健医療福祉サービスの現状と課題
11/10	木	予備日	
11/11	金	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *	人材管理Ⅱ 人材を育てるマネジメント *
11/14	月	資源管理Ⅱ 経営資源と管理の実際 *	資源管理Ⅱ 経営資源と管理の実際 *
11/15	火	質管理Ⅱ 看護サービスの質保証 *	質管理Ⅱ 看護サービスの質保証 *
11/16	水	人材管理Ⅱ 多職種チームのマネジメント *	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *
11/17	木	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *	人材管理Ⅱ 人事・労務管理 *
11/18	金	人材管理Ⅱ 人材を育てるマネジメント *	人材管理Ⅱ 人材を育てるマネジメント *
11/19	土	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 *	組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際 *
11/21	月	実習日	
11/22	火	実習日	
11/24	木	実習日	
11/25	金	実習日	
11/28	月	統合演習1	統合演習
11/29	火	ヘルスケアシステム論Ⅱ ヘルスケアサービスにおける多職種連携 *	資源管理Ⅱ 看護管理における情報管理 *
11/30	水	資源管理Ⅱ 看護管理における情報管理 *	資源管理Ⅱ 看護管理における情報管理 *
12/1	木	統合演習2	統合演習
12/5	月	統合演習3	統合演習
12/6	火	統合演習4	統合演習
12/7	水	統合演習5	統合演習
12/8	木	統合演習6	統合演習
12/9	金	統合演習	リフレクション・閉講式
12/10	土	予備日	

・都合により日程を変更する場合がありますが、ご了承ください。

***印はセカンドレベル研修修了者のためのオープン講座**

公益社団法人奈良県看護協会

2022年度奈良県看護協会認定看護管理者教育課程受講申込書 (様式1ダウンロード可)

ファーストレベル受講申込書 (申込期間3月22日～3月31日13時必着)

セカンドレベル受講申込書 (申込期間7月19日～7月28日13時必着)

各レベル共通のためどちらかを☑ください

※記入日 西暦 年 月 日

ふりがな	
※必須 氏名	
ふりがな	
※必須 自宅住所	〒
※必須 自宅電話番号 (連絡確実な番号・携帯可)	
※必須 実務経験年数	年 月
ふりがな	
施設名	
セカンドレベル申込者のみ記入欄	
看護職賠償保険の加入 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
統合演習Ⅱ(実習)は地域や連携先などから自施設の役割が理解できる様々な機関・施設を選ぶ (行政機関・医療機関・訪問看護ステーションなど) ・第1希望 11月 日 (曜日) 施設名 () 部門 () ・第2希望 11月 日 (曜日) 施設名 () 部門 ()	

記入上の注意

- ・必須項目は必ず記載してください。記載の不備は無効となります。
- ・実務年数は開講月1日を基準としてください。
- ・実務経験年数は准看護師経験、産前産後休業、育児休業、介護休業、休業・休職中は除いてください。1ヶ月に15日を勤務した場合は勤務した事と算出してください。
- ・施設名は任意の記載となります。

※受講者選考は応募者本人に関する情報に基づき、会員・非会員また所属施設、職位等は基準とはなりません。

(個人情報の取り扱いについて)

受講申込に際して得た個人情報は、研修会申込みに伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、この目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはいたしません。

表題

(様式2ダウンロード可)

サブタイトル

提出日

職位

氏名

入力後、「表題」「サブタイトル」の文字は消してください。

M S 明朝 10.5 ポイントで記載する。

入力時、このテキストボックスは削除してください。

※枠線のどこかをクリックし、キーボード「Delete」ボタンを押すと削除し用紙として使用できます。

職位は自施設の職位ではなく、
看護部長職・所長職・副看護部長職・師長職・
副師長職・主任職・副主任職・スタッフより選び記載

入力時、このテキストボックスは削除してください。

※枠線のどこかをクリックし、キーボード「Delete」ボタンを押すと削除し用紙として使用できます。

勤 務 証 明 書

西曆 年 月 日

氏名 _____

1. 在職期間

上記の者は当施設において、以下のとおり 勤務している／していたこと を証明します。

西曆 _____年 _____月より

_____年 _____月まで

通算 _____年 _____月間

2. 職位

上記の者は当施設において、以下の 職位である／あったこと を証明します。

西曆 _____年 _____月より

_____年 _____月まで

職位 _____

施設名：

所在地：

施設長名：

印